

出納室 平成30年度 局運営方針

1. 主な現状と課題

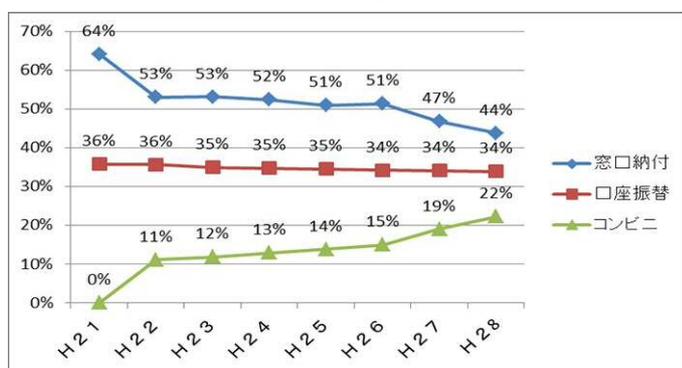
情報通信技術（ICT）の進展に伴い、会計事務を取り巻く環境も大きく変化しており、市民ニーズも多様化しています。

会計事務を執行するに当たっては、従来からの正確性、信頼性、効率性だけでなく、市民満足度向上のため、利便性や即時性など時代に見合った取組を推進し、市民ニーズへの対応能力を高め、「高品質経営」市役所へ向け更なる転換を図ることが求められています。

(1) 公金の納付機会の拡大

口座振替、コンビニエンスストア、クレジットカード納付に加えて、市民が24時間、365日、いつでもどこでも納付ができるマルチペイメントネットワークを活用した新たな収納体制の整備が求められています。

【主な市税（*注）の納付方法の推移】

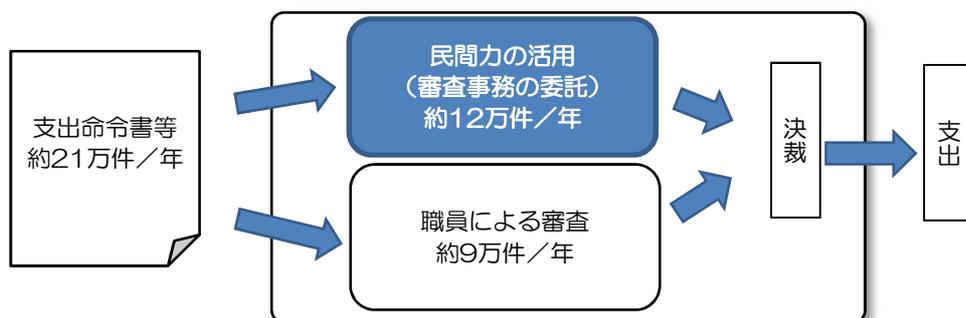


（*注）主な市税
 個人市県民税（普通徴収分）
 固定資産税・都市計画税
 軽自動車税・国民健康保険税
 * 国民健康保険税はH26～

(2) 会計事務の効率性の向上

行政需要が拡大する中、「高品質経営」市役所への転換に向けた取組が求められており、民間力を活用し審査業務の効率化を高める必要があります。

【支出審査事務の委託のイメージ】



(3) 会計事務の正確性、信頼性の向上

市民満足度の高い市役所への更なる転換には、正確で信頼性の高い会計事務が必要不可欠です。

そのためには、出納室職員のみならず、職員全体の会計事務に関する知識・意識を高め、内部牽制機能を強化する必要があります。

2. 基本方針・区分別主要事業

適正かつ効率的な会計事務を行うとともに、公金納付の利便性向上に取り組みます。

(1) 公金納付の利便性を高めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
1	拡大 増	公金の納付機会の拡大 〔出納課〕	86,980 (86,980)	76,336 (76,336)	市税等の収納方法について、マルチペイメントネットワークを活用したペイジー納付、クレジットカード納付、コンビニエンスストア納付を実施

(2) 会計事務の効率性を高めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
2		支出命令書審査等業務 委託事業 〔審査課〕	13,729 (13,729)	14,040 (14,040)	民間力の活用による支出命令書審査等業務の継続

(3) 会計事務の正確性及び信頼性を高めます。

* ()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	30年度	29年度	説明
3		人材育成と内部牽制機能の強化 〔出納課、審査課〕	126 (126)	126 (126)	外部機関の出納事務講座受講による出納室職員の育成

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
出納課	郵便振替の縮小	コンビニ納付を拡充するなど、公金の納付機会の拡大に伴い、郵便振替の過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 1,375
出納課	備品購入の縮小	共通備品(職員用事務机等)の在庫分及び部品交換により、既存備品の有効活用を図ることで、新規購入数を削減し予算額を縮小する。	△ 3,186
出納課	印刷製本費の縮小	実績を見て、予算額を縮小する。	△ 47